



聴覚障がいのある人とのコミュニケーションを考える

聴覚障がいのある人とのコミュニケーション方法と言えば、「手話」を思い浮かべる人が多いと思います。ここでは聴覚障がいのある人へ話しかけるきっかけとなる手話を紹介します。

手話で話しかけてみよう！



声を掛けるきっかけがつかめれば、多くの手話ができなくても、身近にある道具を使って、コミュニケーションをとる方法はあります。たとえば、紙とペンを使った筆談や携帯電話に入力した文字で会話することができます。また、身振り手振りを交えて用件や気持ちを伝えることもできます。

特別に何かを準備したり、勉強するのではなく、少し視点を変えることで、できることは多くあります。みなさんも、コミュニケーションの第一歩である手話を使って、聴覚障がいのある人と心をつなぎ、ともに「住み続けたいまち・住んでみたいまち芦屋」をつくっていきましょう。

市内で手話に関する活動を行っている団体

問い合わせ 芦屋市社会福祉協議会 ボランティア活動センター ☎32-7525/☎32-7538

【手話サークルアミ芦屋】
手話通訳活動を通じて聴覚障がいのある人との交流を行っています。手話技術の向上とともに聴覚障がいのある人への理解を目的に活動しています。
■活動日 毎週木曜日・午後2時～4時
毎週水曜日・午後7時～9時
■活動場所 福祉センター

【手話サークルクレッシェンド】
聴覚障がいのある人と手話を使って交流し、情報を伝え合ったりしています。市の行事等に、手話通訳のボランティアとしても参加しています。
■活動日 毎週水曜日・午後2時～4時
■活動場所 福祉センター

【手話歌サークル】
聴覚障がいのある人への理解を深めるため歌曲を手話で表現する事を通じ、手話表現の向上と手話の普及啓発を行っています。
■活動日 毎月第1月曜日・午後6時～8時
■活動場所 福祉センター